

第12回 健康寿命をのばそう！アワード（介護予防・高齢者生活支援分野） 表彰事例一覧

厚生労働省老健局

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

第12回 健康寿命をのばそう！アワード（介護予防・高齢者生活支援分野） 表彰事例一覧

部門	自治体名	受賞対象団体	取組名
厚生労働大臣 最優秀賞			
	熊本県高森町	高森町	健康寿命の延伸に向けた「通いの場」活性化支援
厚生労働大臣 優秀賞			
企業部門	静岡県小山町	株式会社スルガケアサービス AMBIKおやま	自宅でも楽しくテレビで認知症予防
団体部門	大阪府寝屋川市	医療法人河北会 リハビリデイ河北	事業所開放型通いの場 ～通所C型卒業後の社会参加と役割づくり～
自治体部門	静岡県御前崎市	御前崎市役所高齢者支援課	祝！15周年おまえざき体良（たいりょう）教室 ～持続可能な教室運営の取り組み～
厚生労働省老健局長 優良賞			
企業部門	栃木県さくら市	さくらタクシー有限会社	自然とみんなが助け合う場所 ～地域のおしゃべりカフェ TAKU-TAKU～
	愛知県長久手市	中北薬品株式会社 名東支店	栄養のコンシェル樹（ジュ）がいなくっちゃ ～地域に根差したまちづくり～
団体部門	宮城県東松島市	1. 5会	通いの場づくりのパイオニア！20年の歩み
	静岡県牧之原市	在宅介護支援ボランティア さくら会	#誰かを笑顔に 今年ボランティア活動30周年！
	長崎県長崎市	サン賛サロン	サン賛サロン ～高齢になっても認知症になっても安心して暮らせるまちづくり～
	長崎県	みんなでワハハ	みんなでワハハ！！自分らしく過ごせる地域住民の憩いの場
	大分県大分市	大分市民健康づくり運動指導者協議会	「健康づくりは幸せづくり」 ～誰一人として取りこぼさない地域づくりのために～
自治体部門	岩手県盛岡市	盛岡市保健福祉部長寿社会課	地域ケア会議のオンライン化を起点とした介護予防・認知症施策の深化
	石川県白山市	石川県白山市	あたまとからだの健康増進事業
	山梨県中央市	中央市役所 長寿推進課地域包括支援センター	通いの場の立ち上げを推進するため『デジタル支援員』を育成 ～新たな活動の場が広がる～
	京都府京都市	京都市岩倉地域包括支援センター	チーム FC いわくら なじみの場所で社会参加活動を続けよう
	福岡県古賀市	古賀市健康介護課	ゆかいに楽しむ古賀市高齢者の元気づくりシステム ～持続可能な地域支え合いの礎へ～

事業者名等	高森町	自治体名	熊本県高森町	分野	介護予防
取組タイトル	健康寿命の延伸に向けた「通いの場」活性化支援				
WEBサイト	https://town.takamori.kumamoto.jp/kurashi/hoken/#04				
概要	<p>取組の経緯・背景</p> <ul style="list-style-type: none"> 高森町は典型的な過疎自治体であり、高齢化率は全国及び熊本県平均を大きく上回っている。 要介護認定率も高い値で推移しており、第7期介護保険料は熊本県内で最も高額な自治体となった。（第8期は熊本県内2位） 介護保険料を引き下げるためには、健康寿命の延伸を図り、介護給付費を減少させる必要があるため、平成31年より住民主体の「通いの場」週1回実施に向けた支援に取り組んだ。 				
	<p>取組内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「通いの場」立上げに向けた地区説明会 町の高齢化状況や介護給付費の支出状況を具体的に示す。介護保険料を下げるため、週1回の「通いの場」実施へ。 ②介護予防拠点整備 補助金やふるさと応援寄附金を活用し、地区負担なく高齢者も使いやすい環境を整備 ③健康推進支援員（集落支援員）の配置 集落支援員制度（特別交付税）を活用し、健康推進支援員を大字ごとに6名、統括に2名配置。 ④高森避難フェス（防災DX訓練）の開催 地域の協力を得やすい防災訓練を介護予防拠点となっている42箇所の公民館等で実施。 公民館等42箇所と災害対策本部をテレビ会議システムで同時接続し、防災DX訓練として実施。 ⑤通いの場対抗ポッチャ大会 高齢者や障がい者でもできるポッチャを全ての通いの場に導入。 ⑥理学療法士による体操指導、体力測定 同年代の熊本県平均との比較や個人の経年比較を一目でわかるようグラフで可視化。 R5より町で理学療法士を雇用。半年に1回体力測定を行い、その結果説明をテレビ会議システムにより説明。 ⑦デジタルディバイド（情報格差）解消 高齢者向けスマホ教室やPC教室を開催し、高齢者のデジタルディバイド（情報格差）解消に取り組んだ。 認知症予防として高齢者でもできるUDeスポーツ（ユニバーサルデザインeスポーツ）を導入 ⑧ケーブルテレビによる情報の共有 「通いの場」の様々な取組を毎週ケーブルテレビで放送し、町民全体に共有。 		 <p>⑤通いの場対抗ポッチャ大会</p>  <p>⑦スマホPC教室・UDeスポーツ</p>		
<p>取組の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 「通いの場」の数は年々増加し、令和5年8月現在では44箇所となっており、ほぼ町内全域で住民主体の通いの場が活動している。 町内全世帯が無料で視聴できるケーブルテレビにおいて取組内容を放送し、お互いに刺激を受けながら取り組んでいる。 新型コロナウイルスにより「通いの場」や地域のイベント等も中止されていたが、「通いの場」を中心とした地域コミュニティにより様々なイベントの再開や新たなイベントが行われている。 要介護認定率は、平成27年時点で20.9%と全国及び熊本県平均を上回っていたが、令和5年3月現在では全国及び熊本県平均を下回る18.0%となっている。 					